

## マーガレット・メンデル女史について（参考資料）

（コンコルディア大学教授・カール・ポランニー研究所長、カナダ）

マーガレット（マギー）メンデルさん（Marguerite (Margie) Mendell）はコンコルディア大学の経済学者で、コミュニティ及び公共問題スクールの教授であり、モントリオールのコンコルディア大学、カール・ポランニー政治経済研究所の共同創立者で所長でもあります。

彼女はケベック州における社会的経済、地域の発展、社会的金融、経済民主主義及びカール・ポランニーの仕事について広範な出版を行いました。特に現代の民主主義的な経済の発展戦略に関連した著作がたくさんあります。彼女は国際的に社会的経済を可能にする公共政策の展望について、ケベックの州および地方自治のレベルの関係者との協働のもとに研究してきました。

1990年にメンデル教授はモントリオール・コミュニティ・ローン協会の共同創設者となりました。これはカナダにおける最初のマイクロ・ファイナンス組織であります。以来、ケベック州における社会的金融の専門家として協働活動に従事しています。マギー・メンデルさんは最近“インパクト投資”、大学—コミュニティの研究協力の共同管理者としても活動しております。彼女はインパクト投資についてのG8のタスク・フォースのカナダ諮問委員会の委員を勤めました。

2009年、マギー・メンデルさんはCAPファイナンスの設立にあたって専門家として協働しました。これはケベック州における連帯金融資本発展のための最初のネットワークです。メンデル教授は、“社会的経済シャントイエ”の理事。ラ・トゥイ（la Tohu）というのは、排除された青年たちを労働へ統合し持続可能な発展をめざす社会的経済の広場劇場のための組織ですが、その理事会のメンバーでもあります。彼女はまた、モントリオール市のコミュニティのための持続可能な発展を基礎にした社会的経済諮問委員会のメンバーです。

2012年、メンデル教授は最初のプリックス・ピエール-ダンセロウを受賞しました。これはフランス語圏プール・デ・サヴォワール協会（ACFAS）から授与されたものです。ラジオ・カナダがスポンサーになったこの賞の授与は、社会の改革に関与した個人にとりましてまた組織として最良の勲章であります。

2013年、彼女はケベック賞（Prix du Quebec）を授与されました。これは政府による研究者に対する幾つかの分野の中でも最高の名誉ある賞であります。2014年、彼女はケベック州叙勲者という称号が与えられました。

（2014年11月にソウルで出版された“Inaugural Meeting of the Global Social Economy Forum” 148頁より）